

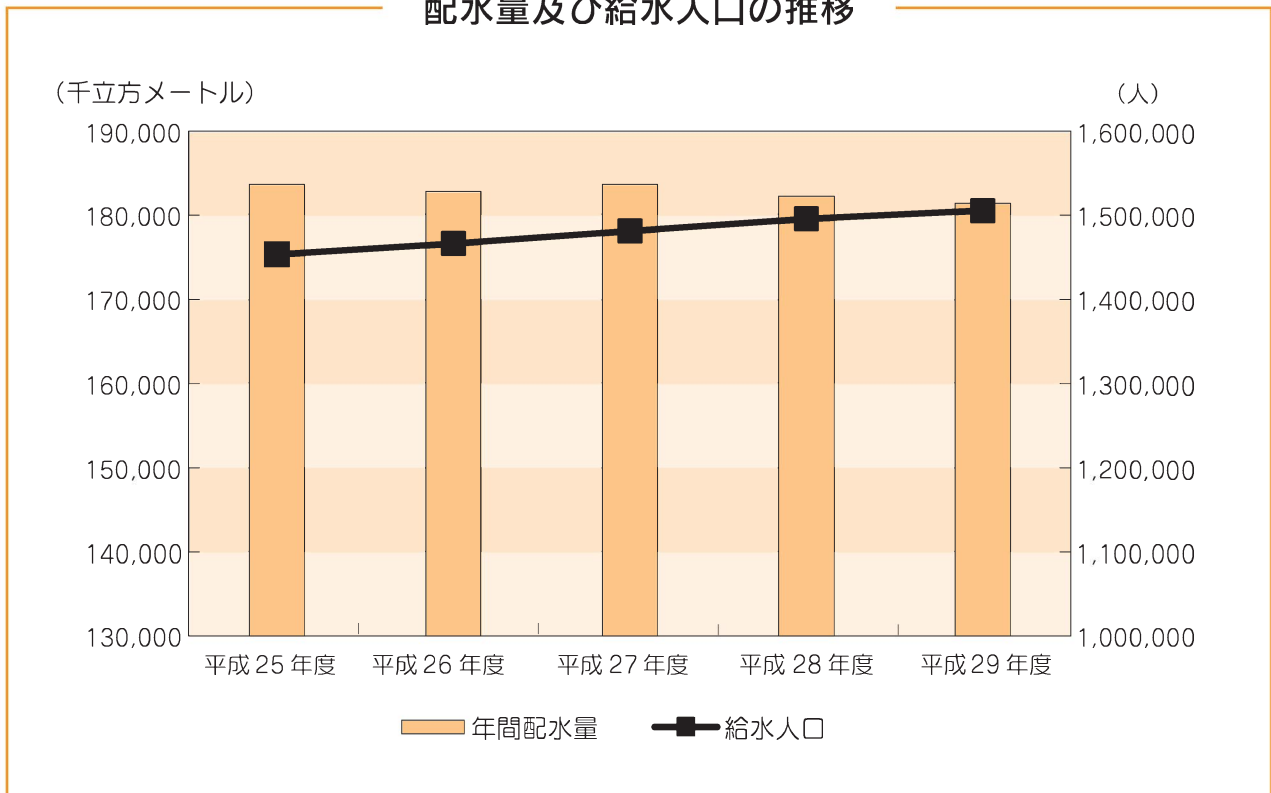
●年間総配水量は1億8,143万m<sup>3</sup>で、前年と比べて減少

(各年度末)

年 度	給水世帯数 (世帯)	給水人口 (人)	給水栓数 (栓)	配 水 量(千立方メートル)		
				総 量	1日最大	1日最小
平成25年度	683,203	1,453,372	808,224	183,690	550	421
26年度	693,180	1,466,395	819,637	182,847	534	423
27年度	698,536	1,481,147	832,672	183,649	533	436
28年度	710,509	1,495,999	846,190	182,255	538	425
29年度	717,072	1,505,707	857,368	181,434	532	428

\* 配水量のみ年度間の累計

配水量及び給水人口の推移



## データチェック

平成29年度末の給水世帯数は71万7,072世帯(対前年度比0.9%増)で、給水人口は150万5,707人(同0.6%増)となっています。また、給水栓数は85万7,368栓(同1.3%増)で、年間総配水量は1億8,143万立方メートル(同0.5%減)となっています。

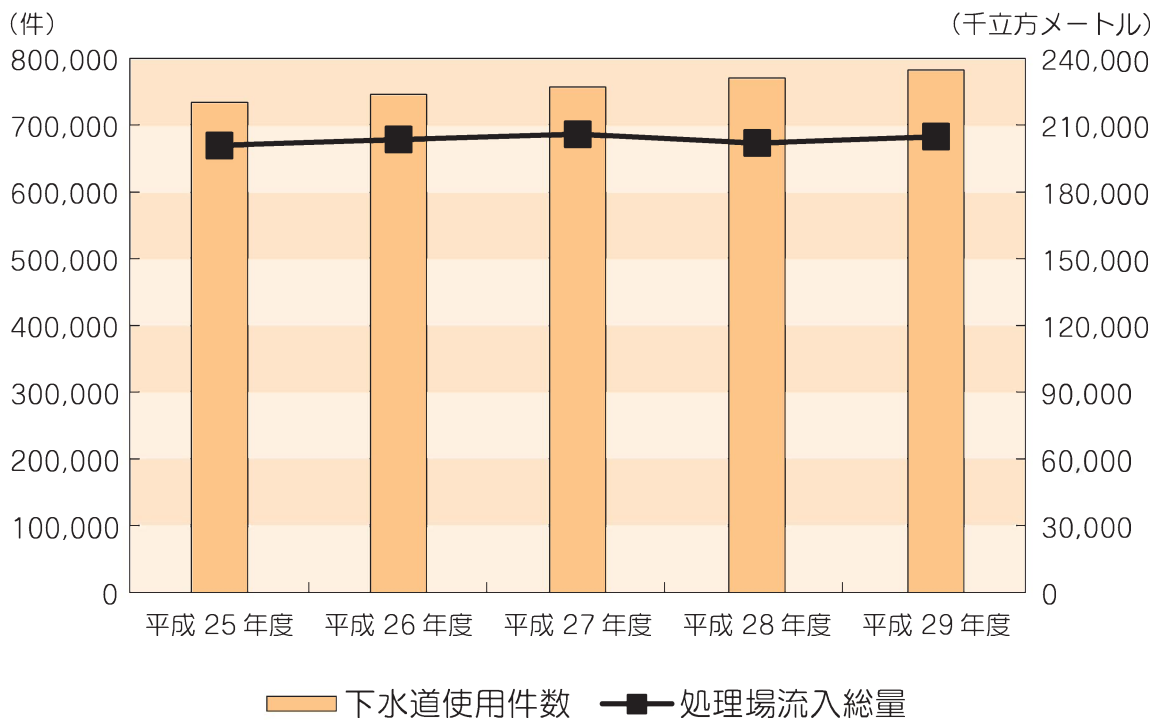
●処理場流入総量は2億487万立方メートルで、前年と比べて増加

(各年度末)

年 度	処理区域面積 (ha)	水洗化可能件数 (件)	水洗化件数 (件)	水洗化率 (%)	下水道使用件数 (件)	下水処理場 (箇所)	下水管延長 (km)	処理場流入総量 (千立方メートル)
平成25年度	10,693	679,025	674,721	99.4	733,788	4	3,090	200,903
26年度	10,700	689,125	684,988	99.4	745,824	4	3,103	203,577
27年度	10,704	693,766	690,054	99.5	757,707	4	3,111	205,950
28年度	10,706	706,638	703,009	99.5	770,519	4	3,121	202,013
29年度	10,708	718,923	715,488	99.5	782,754	4	3,131	204,870

\* 処理場流入総量のみ年度間の累計

下水道使用件数及び処理場流入総量の推移



## データチェック

平成29年度末における下水道は、処理区域面積が1万708ha、下水管延長が3,131km、水洗化件数が71万5,488件、水洗化率が99.5%となっています。また、4か所の処理場での平成29年度中の流入総量は、2億487万立方メートルで、前年と比べて285万7,000立方メートルの増加となっています。

## 市バスの運輸状況

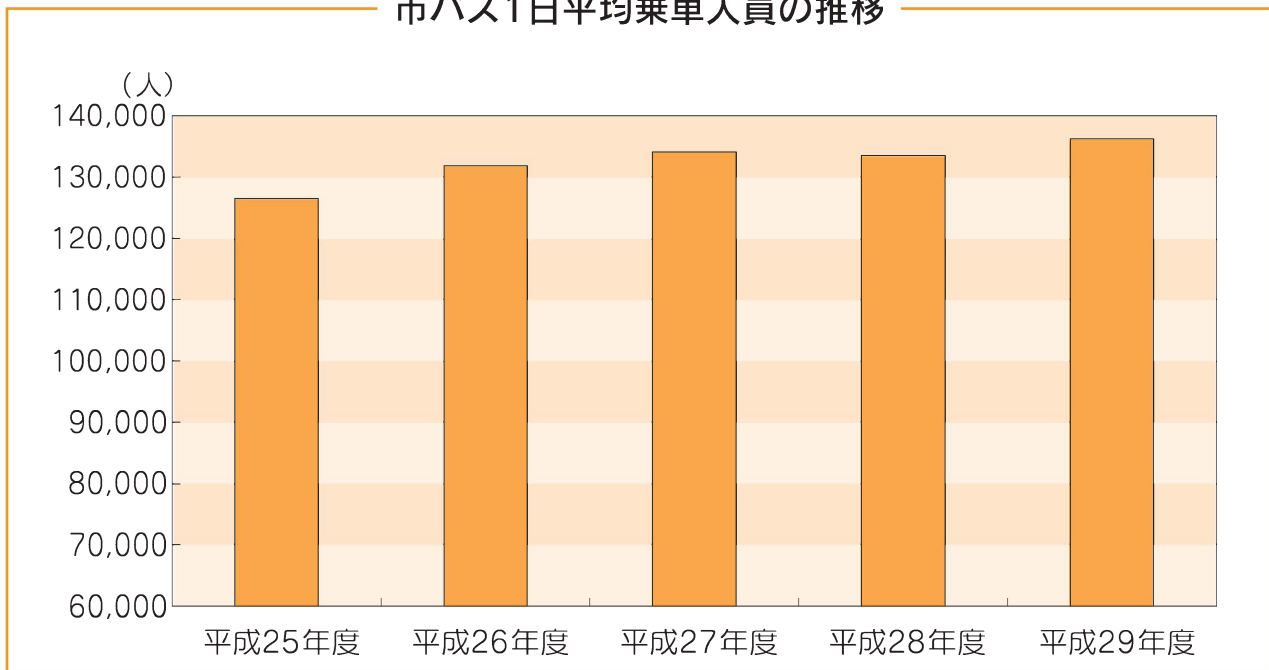
●1日平均乗車人員は13万6,275人で、前年度と比べて増加

(各年度末)

年 度	営業キロ (km)	在籍車数 (台)	乗車人員(人)			
			総数	定期	定期外	1日平均
平成25年度	195.09	335	46,192,701	10,746,302	35,446,399	126,555
26年度	195.14	338	48,118,950	11,428,127	36,690,823	131,833
27年度	194.70	335	49,077,479	11,898,530	37,178,949	134,091
28年度	194.40	339	48,735,911	12,444,976	36,290,935	133,523
29年度	195.42	341	49,740,307	12,872,922	36,867,385	136,275

\*乗車人員は、年度間の累計

市バス1日平均乗車人員の推移



## データチェック

平成29年度の乗車人員は、4,974万307人で、前年度と比べて100万4,396人(2.1%)増加しています。1日平均乗車人員は13万6,275人で、前年度と比べて2,752人増加しています。

# 主要駅の1日平均乗車人員

●1日平均乗車人員が10万人を超える駅は4駅

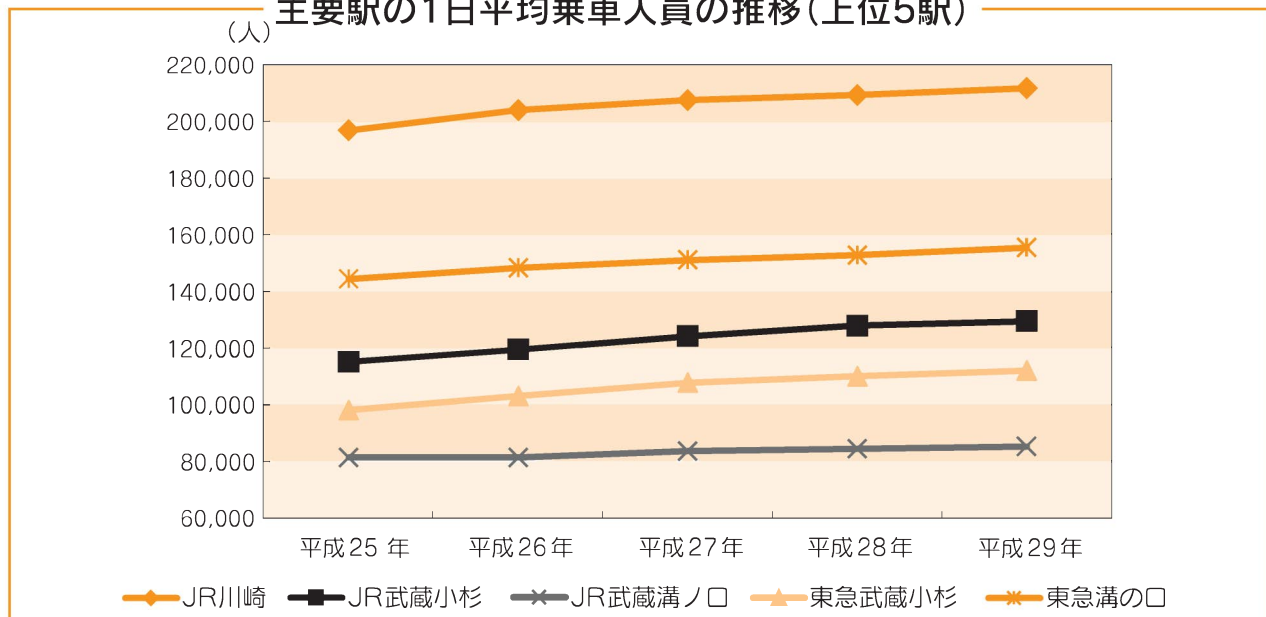
(単位：人)

駅名	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
京浜急行 京急川崎	57,970	60,242	61,126	62,656	64,190
JR東日本 川崎	197,010	204,153	207,725	209,480	211,896
武蔵小杉	115,262	119,604	124,325	128,079	129,637
武蔵溝ノ口	81,503	81,509	83,756	84,575	85,355
登戸	80,465	79,944	81,162	81,664	81,781
新川崎	25,392	25,416	27,085	27,264	28,820
小田急 登戸	79,138	80,525	80,879	81,104	81,339
新百合ヶ丘	61,382	62,050	62,260	62,981	63,727
向ヶ丘遊園	32,300	32,491	32,836	33,283	33,666
東急 溝の口	144,540	148,474	151,268	152,992	155,631
武蔵小杉	98,231	103,261	107,900	110,183	112,156
元住吉	31,512	32,156	32,215	32,554	33,174
鷺沼	29,578	30,127	30,569	30,898	31,092
宮前平	24,956	25,485	25,802	26,017	26,344
京王 京王稲田堤	24,661	25,598	26,117	26,840	27,356

\* 京浜急行電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、小田急電鉄株式会社、東急電鉄株式会社、京王電鉄株式会社

\* JR東日本は、各年度の1日平均乗車人員を表したものの。

## 主要駅の1日平均乗車人員の推移(上位5駅)



## データチェック

平成29年の市内のJR・私鉄の1日平均乗車人員は、JR川崎駅が21万1,896人で最も多く、次いで東急溝の口駅が15万5,631人、JR武蔵小杉駅が12万9,637人、東急武蔵小杉駅が11万2,156人となっており、この4駅が10万人を超えています。

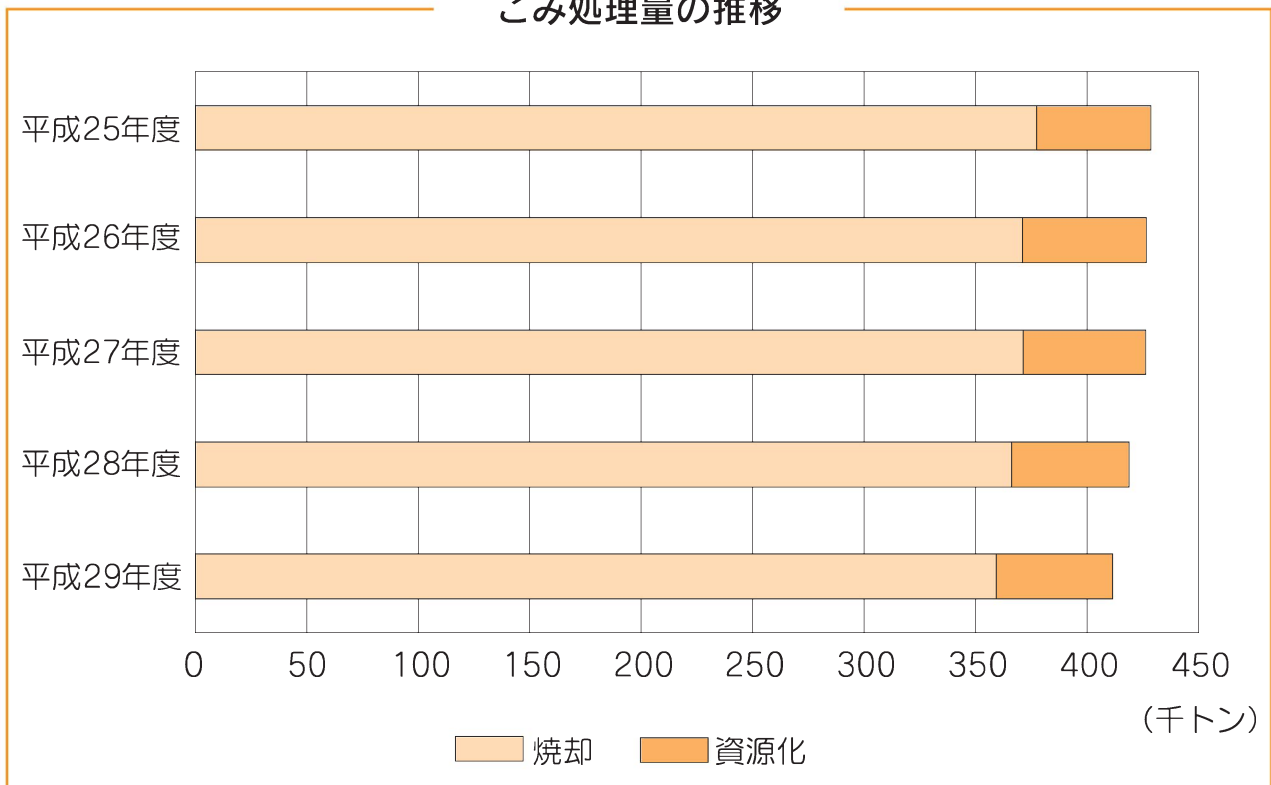
また、表に掲げた主要駅は、1日平均乗車人員が前年と比べて全て増加しており、増加数をみると、東急溝の口駅が2,639人で最も多く、次いでJR川崎駅が2,416人、東急武蔵小杉駅が1,973人となっています。増加率をみると、新川崎駅が5.7%で最も高く、次いで京急川崎駅が2.4%、東急元住吉駅及び京王稲田堤駅が1.9%となっています。

(単位：トン)

年 度	①総処理量	処理量		資源化の割合(%) ②÷①×100
		焼 却	②資源物	
平成25年度	428,850	377,363	51,200	11.9
26年度	426,493	370,849	55,644	13.0
27年度	426,243	371,270	54,973	12.9
28年度	418,767	366,016	52,751	12.6
29年度	411,487	359,169	52,318	12.7

\*資源集団回収は含まない。

ごみ処理量の推移



## データチェック

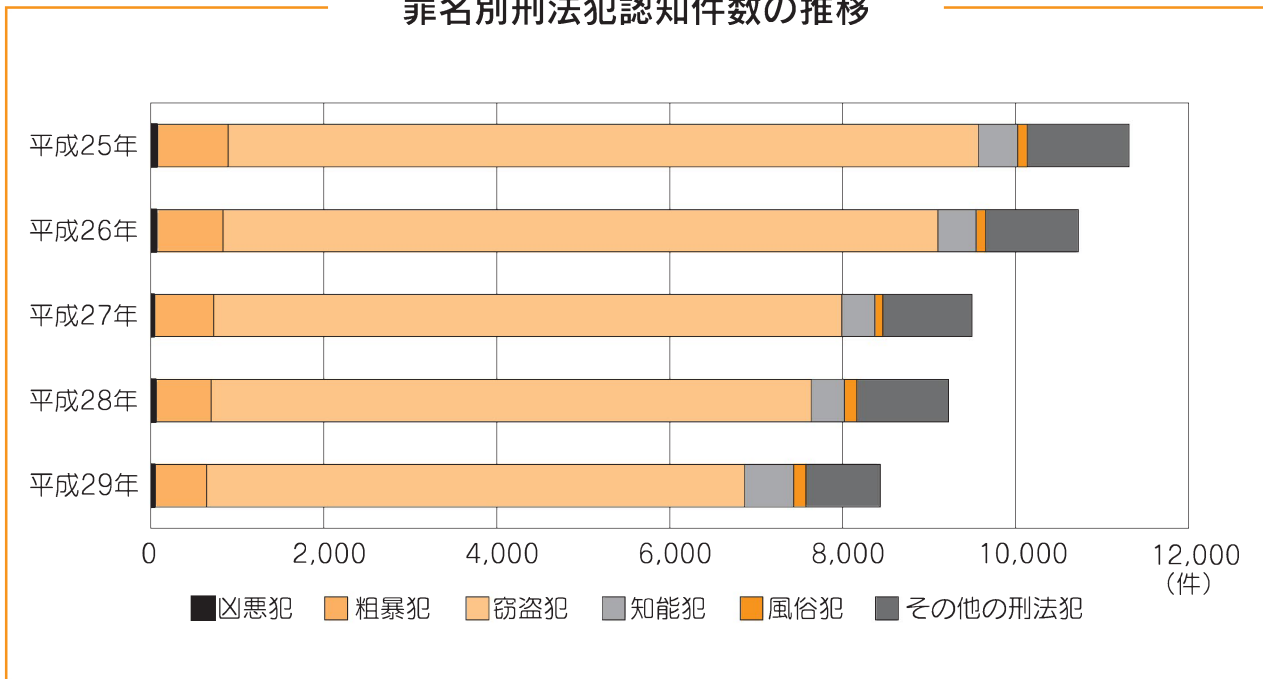
平成29年度のごみの総処理量は、41万1,487トンで前年度と比べて7,280トン(1.7%)減少しています。このうち、35万9,169トン(総処理量の87.3%)を焼却処分し、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装を中心とした5万2,318トン(同12.7%)を資源化しました。

(単位：件)

年次	総数	凶悪犯				粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯
		総数	強盗	放火	その他					
平成25年	11,312	70	45	3	22	821	8,682	451	108	1,180
26年	10,725	60	33	6	21	773	8,266	441	109	1,076
27年	9,495	35	20	3	12	692	7,260	383	94	1,031
28年	9,227	54	24	4	26	642	6,940	383	140	1,068
29年	8,436	43	22	1	20	602	6,222	566	143	860

\* 神奈川県警察本部

### 罪名別刑法犯認知件数の推移



### データチェック

平成29年中の市内における刑法犯認知件数は8,436件で、前年と比べて791件(8.6%)減少しています。平成25年以降の推移をみると、件数が年々減少していることがわかります。

その他の刑法犯を除く犯罪別にみると、窃盗犯が6,222件(総数の73.8%)と最も多く、次いで粗暴犯が602件(同7.1%)、知能犯が566件(同6.7%)の順となっています。

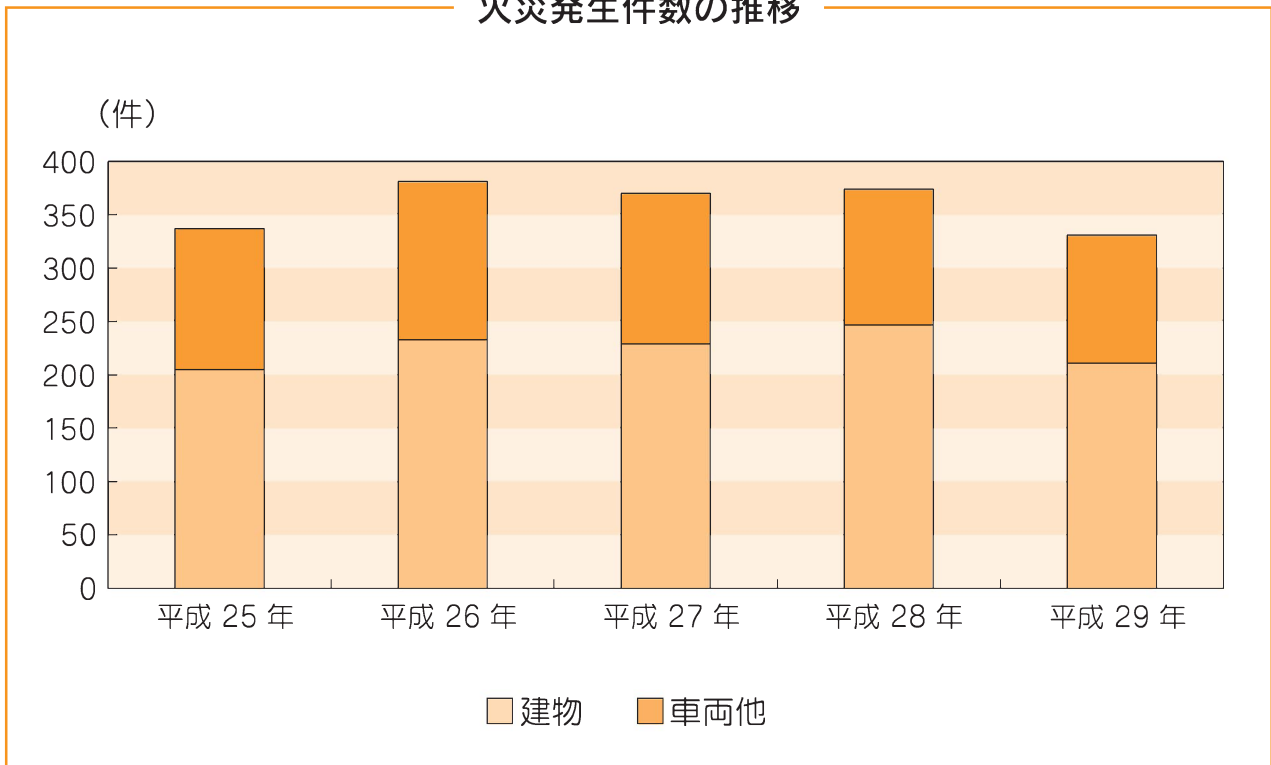
平成28年と比べると、凶悪犯が11件(20.4%)、粗暴犯が40件(6.2%)、窃盗犯が718件(10.3%)の減少となった一方、知能犯が183件(47.8%)、風俗犯が3件(2.1%)の増加となっています。

## 火災発生件数

●火災件数及び死傷者数は減少、焼損面積及び損害額は増加

年次	火災件数(件)			焼損面積 (平方メートル)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
	総数	建物	車両他				
平成25年	337	205	132	4,049	267,779	6	59
26年	381	233	148	3,124	241,785	9	63
27年	370	229	141	15,211	341,727	22	79
28年	374	247	127	2,829	235,437	5	64
29年	331	211	120	3,503	307,863	11	57

火災発生件数の推移



### データチェック

平成29年の火災発生件数は331件（前年比11.5%減）、焼損面積は3,503平方メートル（同23.8%増）、損害額は3億786万円（同30.8%増）となっています。また、死傷者は68人（死者11人、負傷者57人）で、前年と比べて1人減少しています。

# 交通事故発生状況

## ●交通事故発生件数及び死傷者数が増加

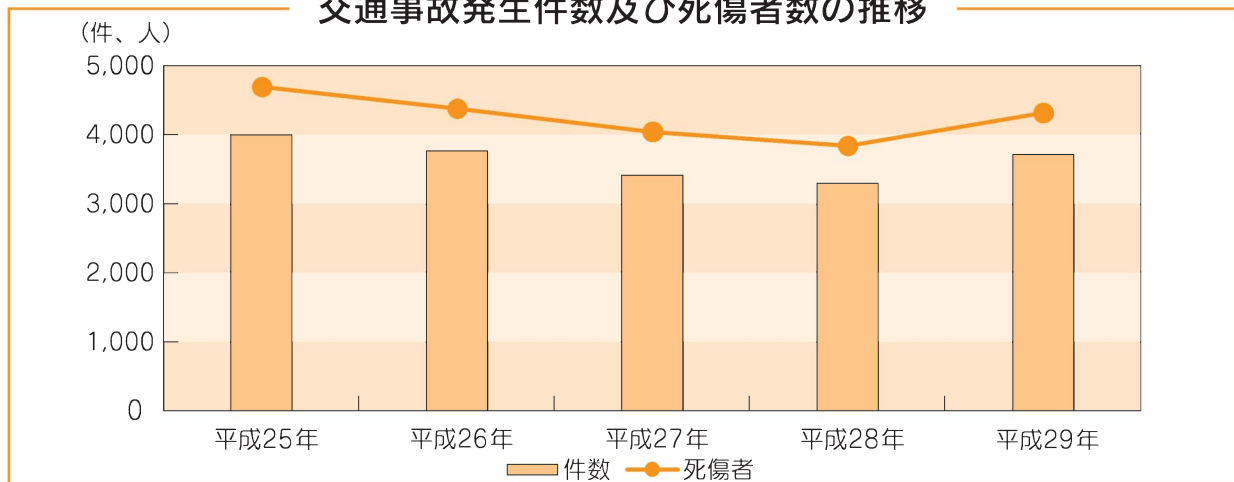
(単位：件、人)

区・種別		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
川崎市	件数	4,000	3,767	3,416	3,300	3,714
	死者	22	29	26	18	20
	負傷者	4,670	4,350	4,015	3,823	4,297
川崎区	件数	867	763	730	681	810
	死者	13	10	11	5	6
	負傷者	1,016	898	894	819	969
幸 区	件数	453	466	453	423	415
	死者	1	3	2	1	4
	負傷者	526	541	534	494	481
中原区	件数	404	418	373	320	398
	死者	3	1	3	2	2
	負傷者	449	470	423	352	442
高津区	件数	674	667	513	500	473
	死者	1	3	4	4	3
	負傷者	771	771	601	581	550
宮前区	件数	668	578	476	488	628
	死者	3	8	4	2	3
	負傷者	799	669	558	569	716
多摩区	件数	584	546	553	524	549
	死者	-	2	2	3	1
	負傷者	680	613	639	602	633
麻生区	件数	350	329	318	364	441
	死者	1	2	-	1	1
	負傷者	429	388	366	406	506

\* 神奈川県警察本部

\* 市内で発生した人身事故の件数及び死傷者数で、高速道路等の事故を含む。

### 交通事故発生件数及び死傷者数の推移



### データチェック

平成29年中の市内の交通事故発生件数は3,714件で、前年と比べ414件（12.5%）増加しています。また、平成29年中の死傷者は4,317人で、前年と比べ476人（12.4%）増加しています。

区別にみると、死傷者数は川崎区が975人で最も多く、次いで宮前区が719人、多摩区が634人の順となっています。また、前年と比べると、件数、死傷者数ともに幸区及び高津区で減少しており、その他の区では増加しています。